

令和3年度第1回八雲町地域公共交通会議 議事記録
 令和3年6月28日(月) 13時30分～14時30分

【出席者】

(敬称略)

| 所属・役職 | 氏名 |
|------------------------------------|-----------|
| 国土交通省北海道運輸局函館運輸支局 輸送・監査担当首席運輸企画専門官 | 經 龜 真 利 |
| 国土交通省北海道運輸局函館運輸支局 輸送・監査担当 | 高 栖 涼 太 |
| 北海道渡島総合振興局地域創生部 地域政策課新幹線推進室長 | 檜 塚 貴 稔 |
| 北海道渡島総合振興局函館建設管理部八雲出張所 所長 | 前 田 和 久 |
| 北海道函館方面八雲警察署 交通課長 | 小 関 靖 晃 |
| 函館バス株式会社 バス事業部次長 | 金 岩 祐 也 |
| 有限会社八雲ハイヤー 代表取締役 | 大久保 健 一 |
| 八雲町町内会等連絡協議会 会長 | 大 野 尚 司 |
| 函館地区交通運輸産業労働組合協議会 事務局長 | 大 岩 伸 一 |
| 熊石町町内会連絡協議会長 | 井 口 啓 吉 |
| 八雲町 町長 (地域公共交通会議会長) | 岩 村 克 詔 |
| 落部連合町内会 会長 | 知 野 修 司 |
| 八雲商工会総務委員長 | 伊 藤 整 志 |
| せたな町 まちづくり推進課長 | 佐 藤 英 美 |
| せたな町 まちづくり推進課主幹 | 松 原 孝 樹 |
| (オブザーバー) 北海道檜山振興局地域創生部 地域政策課長 | 幅 口 一 路 |
| (関係課) 地域振興課 課長 | 野 口 義 人 |
| 八雲町政策推進課 課長 | 川 口 拓 也 |
| 八雲町政策推進課 課長補佐 | 上 野 誠 |
| 八雲町政策推進課 企画係長 | 多 田 玲 央 奈 |
| 八雲町政策推進課 企画係 | 齋 藤 彩 |

令和3年度第1回八雲町地域公共交通会議

議事記録

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付 机上配布
- 3 会長挨拶 岩村町長
- 4 報告事項

①八雲町地域公共交通網形成計画の進捗状況の評価について～資料に沿って事務局説明 質疑等なし

②八雲一熊石間予約バスの実証実験の結果について～資料に沿って渡島総合振興局説明

(委員)

費用対効果と申しますか、料金については概ね妥当というアンケート結果ですが、費用の方ってどんな感じなのでしょう。18日間という限られた期間だと思うのですが。

(事務局)

事業を実施した道庁の交通企画課から聞いているのは、だいたい190万円くらいだったと思います。道庁の交通企画課から委託をして、今説明していただいた資料などの作成など、コンサルへの委託料等も全て含めてと聞いています。詳細は交通企画課でないともわかりません。

(委員)

バスのあれから、資料作りから全部いれてってことなんだ。

(会長)

“バスの運行”の費用対効果が知りたいってことですね。運行で考えると費用対効果は低いと思います。

(委員)

今回は実証実験ということで、通常の函館バスの江差八雲間のバスを走らせながら、空き時間にやるということで、乗る人が乗らないというようなかたちになるので、利用者が少ないというのが事実だったのですが、その中から可能性を見つけるというのが今回の実験だと私は聞いておりますので補足させていただきます。

5 協議事項

①熊石・八雲間予約バスの導入について～ 資料に沿って事務局説明 質疑等なし

※地域内フィーダー系統補助金について～ 資料に沿って運輸支局説明 質疑等なし

6 その他 (委員から一言ずつ)

(委員)

八雲ハイヤーの大久保社長へもご協力いただきながら、申請する路線の事前の確認だとか色々と調節をさせていただきました。今回、江差から八雲へ向かうバスは廃止することになる流れの中で、開始までに最低限の機能はのせなくちゃいけないということで、議論の部分が少なかったように感じましたので、今後協議会の中で走りながらとなりますが、こういった部分変えた方がいいかなだとか、色々と見直しをしていきたいと道

路運送上できることと、できないことがありますけども、色々と御協力できることや知恵を出しながら持続可能な熊石・八雲間を実現していければなと思っております。

(委員)

コロナの関係でなかなか各市町に出かけることも憚れるという感じもありますが、改善してきたということでこれから色々と市町のお話も聞かせていただければと思っておりますし、バスの関係もですが、もう1つ大きな課題として JR、新幹線の関係などもありますので、しっかりと地域の皆さんのご意見もききながら進めていきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

(委員)

道道の維持管理をやっております、八雲町の駅前通りなど管理しております。聞き逃したかもしれないので1つ確認したいが、八雲町内では乗降しないということでしょうか。

(事務局)

八雲の市街地の方はですね、八雲から熊石に行く便は乗るだけ、熊石から八雲に行く便は降りるだけ。という設定で、八雲市街地内で乗って降りるということではできないように対応しています。

(委員)

将来的な見直しはあると思うんですけども、八雲の駅だとかで利用する人とかもいると思うんですね。

(会長)

新幹線の駅だとか、函館バスさんの関係もありますし、これから始めていきますので、色々と配慮しながら今後進めて参りますのでよろしく申し上げます。

(委員)

バスの運行に関しては、事故防止に気を付けていただきたいと思います。警察官の確保もそうなんですが、運転手の確保もなかなか難しくなるのかなと思いますし、高齢化も予想されるので、事故防止お気を付けてください。峠は冬は道も悪くなると思うので、その点も配慮していただければと思います。

(委員)

町民としてはいいことだと思います。利用者が減るのではなく、逆に増えるような何らかの方法で町も考えてほしい。利用がなければせつかくの交通網が終わってしまうということですので、例えばさきほどもありましたけれども、高校生には助成するとか、町民に対してはいくらかでも助成してやると、そういうことをしていただければ、この値段でどうかなと逆に考えることもあるんですけども。そのへんちょっと考えていただければと思います。

(委員)

今回は熊石主体としてやっておりますけども、落部もそのうちこういうバスが来るのではないかと期待しておりますし、私も後期高齢者ですが、だんだん運転もしなくなる、そうみると、高校生というより、そういった

高齢者の方が病院通いということで、もっと地域的に細かく乗れる、降りれるのが必要ではないかと。どこかの県では、手を挙げればその時間帯のバスに乗れ、自分の家のまわりで降りられる、そういうふうなかたちで将来的にきめ細くなるように、熊石方面や落部方面にもつながるようによろしくお願いします。

(委員)

八雲江差間がなくなるという情報を熊石地域の方はわかっているのかなと思いますので、その周知や情報を流してもらって利用促進が図られればいいのかなと思います。こういった計画があるということで、皆さん楽しみにしていると思いますので、ぜひ進めていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

(オブザーバー)

檜山海岸線、江差八雲ということで、どちらかという檜山側の課題だったんですが、八雲町のご尽力、ご協力いただきまして進んできたと思うので、その部分に関して感謝申し上げます。また檜山地域におきまして、檜山地域だけで完結できる問題というのは、公共交通では少ないかと考えておりますので、こういった機会をいただきまして、勉強させていただきながら政策等検討させていただきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(委員)

皆さまのおっしゃった重複する件なので特にございません。

(委員)

以前にお話ししたかもしれませんが、我々はまだ車を乗れる年ではありますが、今後もしそういったことになると、東北仙台などでも100円バスとかが走っていますので、ぜひ町民の足となるような将来性を見据えたような策を期待したいと思います。

(委員)

実証実験をやったときは、熊石地域の方には大変感謝されて続けてほしいという声もいただいておりますし、今回申請するものについては、熊石地区はゾーンによって自分の家の前から乗れるということで、かなり利便性は高まるのではないかと考えています。病院だとか駅を利用する特に高齢者の方には優しい交通になると思っています。3往復の輸送から始まりますが、町民から喜ばれて、もっと利便性を高く、回数を多くしてほしいという声が上がってくればいいかなと思っています。

蛇足ですが、コロナについてタクシー会社も患者輸送を担う場合もあり、公共交通を担うということで、早めにワクチンを打っている場合もありますので、ご協力をいただきたいと思います。

(委員)

今回のデマンドバスについては八雲町民の利便性を高めるために動いていると思いますけども、他の町と八雲町が違うのは、他の町からくる場合は、他の町の用を足すための目的地となっているということが、我々も運行をしているうえで感じているところがございます。そういった意味では、今後こういったデマンドバスとうまく調整しながら、他の町の方々も八雲町で用をたしやすいうように、お互い連携していけたらと考えております。また、八雲町の並行在来線の関係で、方向性になるべく早く決めていただけると、いろんな部分で連

携していけることもあると思います。そのへん含めて早めに決定していたければ我々としても動けるのかなと思いますので、よろしく願いいたします。

(委員)

当町でも令和元年度から2系統のフィーダー運行をしております、昨年10月より八雲町と連携しまして、檜山海岸線予約バスを運行しております。今回の江差八雲線につきましては、将来的な利便性を考えると個人的には賛成と思っています。今後もフィーダー運行、当町で行っている檜山海岸線との接続という関係が出て来るかと思しますのでそのへんを引き続き、八雲町と連携した動きで取り組んでいきたいと思っております。

5 閉 会

以 上